

# ろうさい ニュース

平成 30 年

5 月号

第 405 号

## ■形成外科のご紹介

形成外科副部長 藤高 淳平

平素より患者様のご紹介をありがとうございます。

当院の形成外科の紹介をさせていただきます。

新しい専門医制度が、2018 年 4 月より開始されています。

初期研修を終えた研修医は 19 の基本領域から 1 領域選び、専門医を目指す事になります。

形成外科は、その 1 領域として認められおり、ますます重要性が増してきています。認められた背景には、外傷を中心としたプライマリケアへの対応や傷跡をきれいに治す事での QOL の改善への貢献が大きいと思われます。当院は京都大学形成外科のプログラムに属しており、4 月より一人の後期研修医が当院での研修を開始しています。

また、ろうさいニュース 4 月版で紹介させていただいたように、新院長として形成外科の鈴木が就任いたしました。傷跡をきれいに治す瘢痕の治療や唇裂口蓋裂をはじめとする体表面の先天異常疾患などを中心に専門外来を火曜日の午前に始めましたので、患者さんがいらしたらご紹介ください。

腫瘍切除後や高度な外傷に対するダイナミックな再建治療も行っていますが、なるべく傷跡を目立たないように治す低侵襲の治療も求められます。

低侵襲な治療の代表にレーザー治療があります。かつては近隣には全身麻酔でレーザーが可能な病院が当院しかありませんでした。そのため、小児へのレーザー治療の歴史が古く、現在もそのノウハウが引き継がれています。

当院には高周波レーザー、Vbeamレーザー、Qスイッチルビーレーザーがあります。

高周波レーザーは、ほくろや分厚い脂漏性角化症(老人性疣贅)などのように物理的に取り除く必要のある腫瘍に使用しています。簡便ですが、術前に悪性を否定しなければならず、専門性が必要です。

Vbeamレーザーは平成26年より当院へ導入されました。

赤あざ用のレーザーです。莓状血管腫、単純性血管腫や毛細血管拡張に保険適応があります。以前のレーザーで改善しなかった血管腫にも効果があります。広範囲な症例や小児の顔面症例は全身麻酔での治療もおこなっています。

また、保険診療外となりますが肌質改善、小じわの改善にも効果があり、自費診療で治療が可能です。



Qスイッチルビーレーザーは青あざに保険適応があります。異所性蒙古斑や太田母斑、扁平母斑などです。自費診療になりますが、加齢等により生じるいわゆる「シミ」にも効果があり、内服や外用剤も使い治療しています。治療効果が高く、満足される患者さんも多いです。

各分野で注目されている「再生医療」は、形成外科でも大きな期待が寄せられています。形成外科領域では、皮膚、軟骨があります。重要な3要素は、足場、細胞、サイトカインとなります。皮膚の再生には足場として、人工真皮を用いますが、新院長の鈴木が以前開発したペルナックが有用です。さらには、サイトカインを徐々に放出可能な、簡単に言えばサイトカインと足場が一体となった新型人工真皮も鈴木らが開発し今後使用可能となります。



私も京大病院で勤務中に医師主導治験に関与しました。

まずは、難治性潰瘍の患者様に使用可能となりますが、当科でも積極的に再生医療を活用してまいります。

## ■消化器外科のご紹介

消化器外科部長 井上 立崇

先生方はじめ関係者の皆様方には平素より大変御世話になっております。消化器外科の井上立崇より、当科について紹介申し上げます。

この3月まで院長であった有井が定年退職し、4月から東京医科歯科大学から南角が転勤してまいり、現在、寺谷、井上、隅田、吉田、南角、それに乳腺外科部長兼任の加賀野井の6名で診察を行っております。

外来診療は月～金曜日まで毎日午前に行っており、急患は24時間365日受け付けております。診療対象は消化器疾患一般で、悪性腫瘍（食道～大腸の消化管、肝胆膵など）、良性疾患（鼠経・腹壁ヘルニア、胆石症など）を広範にカバーしております。

当科の特徴は、1 迅速な対応、2 高い腹腔鏡率、3 高難易度の肝胆膵手術、4 消化器内科等他診療科との良好なコミュニケーションがあげられます。

- 1 腹部救急疾患については、昼夜を問わず救急疾患に精通した医師が迅速に診断し必要な場合は即時緊急手術を行います。大半は単孔式腹腔鏡で行っております。また悪性疾患についても、初診日から数日で大半の検査を終了しできるだけ翌週までに手術予定を入れるようにしております。
- 2 2000年代の後半より緊急手術や大腸・胆嚢手術のほとんどと胃手術の大半は腹腔鏡で行っており、2010年より導入した単孔式手術も多くの疾患に施行しております。
- 3 前東京医科歯科大学肝胆膵外科教授であった有井がございました関係で肝胆膵高難度手術にも積極的に取り組んでおります。
- 4 多様な消化器疾患に対して最適な治療を提供するため常時消化器内科と連絡をとりあっております。消化器症状があるがどの科にいったいよいかわからない場合は、外科に紹介いただければ迅速に適した科を判断して対応いたしますので、ご遠慮されることのないようお願いいたします。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 院長外来開始のお知らせ

平成30年5月16日（火）から、院長による外来（毎週火曜日）を開始いたしました。癒痕の治療や唇裂口蓋裂をはじめとする体表面の先天異常疾患などの患者さんがいらしたらご紹介ください。

## 神経内科外来の開始のお知らせ

平成30年6月5日（火）から、京都大学附属病院の非常勤医師による神経内科外来（第1・第3週火曜日）を開始いたします。

地域の患者さんの診療にお役に立てれば幸いです。よろしく御願い申し上げます。

## 第14回浜松労災病院呼吸器カンファランスの開催について

平成30年6月13日（水）に、浜松労災病院呼吸器カンファランスを下記のとおり開催いたします。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年6月13日（水）

19：30～21：00

場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

## 第33回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成30年7月25日（水）に、浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「不眠」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年7月25日（水）

19：30～20：30

場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

講 師：浜松医科大学 内科学第一講座 教授 宮嶋裕明先生

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00